

令和6年度 第1回隠岐高等学校

魅力化コンソーシアム合同委員会 議事録

開催日時 令和6年6月20日(木) 16:00~16:40
会場 隠岐高校 総合実践室
出席者 会長 野邊様、副会長 石倉校長、監事 中村様、橋本様、
役員 金井様、藤野様、米津様、牧尾様、藤田様、
委員 金田様、齋藤様、長田様、勝部様、谷本様、
委員 高橋、若林、大上、福島、佐々岡、安部
事務局 山中、若岡、竹崎、井上、竹内

議事録

1. 会長あいさつ
 2. 校長あいさつ・学校現況報告
 3. 第1回役員会の報告
 1. コンソーシアム名簿・規約規程について
 2. 令和5年度決算について
 3. 令和6年度KPI・令和6年度予算案について
 4. 役員会・委員会年間予定について
 5. 地域みらい留学および島親さんの現状について
(藤田役員) 島親としての現況報告
ある程度不安はあったが、生徒は真面目で主体的。
隠岐の子供たちにもこのように学んでほしい。
(山中) 365生との聞き取りの内容：“楽しい”ことを言語化できている。
新しい人と出会えることが楽しい。
 - 質疑応答
(野邊会長) 瀬戸内サニーとの事業とはどのようなものか。
(若岡) 各地で魅力化事業をしている高校をYouTubeにあげたりして共有。
解決できていない問題などを、起業家から聞くなどしていきたい。アントレ。
 6. 令和5年度社会人基礎力アンケート結果について
 7. DXハイスクールの採択について
 8. 高校力化アンケートご協力のお願について
 - 質疑応答
(勝部委員) Society5.0の教職員スキルアップの機会とはどのようなものか。
(若岡) 昨日の中村先生の総合の授業に関する研修などをしてもらっていることや、企業にもお力添え頂いている。
4. 各種委員会
二つの委員会に分かれる

令和6年度 第1回隠岐高等学校

魅力化コンソーシアム Society5.0 対応人材育成委員会

開催日時 令和6年6月20日(木) 16:40~17:30

会場 隠岐高校 総合実践室(西側)

出席者 委員長 藤野様、 監事 中村様、 役員 米津様、
委員 金田様、長田様、勝部様、大上教務部長、佐々岡進路部長、安部商業部長、
事務局 若岡(進行)・竹崎

議事録

①藤野委員長 挨拶

②意見交換

・「社会人基礎力アンケート」の数値改善に向けての具体的な取り組みを話し合う

(若岡) 昨年度の会のものを参考に。総合型が増えた。

隠岐高校にしかない教育をしてほしい。保護者意見より、教育・保育・医療が多い。

偏っている。「隠岐の島を愛する」=島に帰って活躍する人材を育ててほしい。

隠岐高校のメインは「ジオパーク」であり、ここから地域の課題を見つけて、解決することが大切である。様々な学力以外の力を身に着けることが大切。

ここの数値は気になる！

(質問) Aは若岡先生

Q1~20の項目は、決まっているもの？ 参考にしたものは？

A 過去5年決まっている。文科省・経済産業省・コンピテンシーなどを参考にした。

Q 今後の社会に対応する力？ Society 5.0 に対応？

A 今の時代にも30年後にも必要になってくる力。

Q 機械を使える人とは？

A デジタルの活用は必要不可欠。DXの採択などもある。

あくまで個人意見だが、結局仕事をする上で、人対人の対人関係が大切でないかと考える。

(若岡) 1番をどうにかしたい。「周囲を動かすことができるか」

どうやって力をつけることができるのか。

(佐々岡) 自分も隠岐出身。

小学校からお互いを知りすぎている。この人は…というような固定化がある。

今でも役割が固定化しているのが良くないのではないかな。もっと仲良く、少しずつ前に進むこと。話し合う・誰もが同じであってもきちんと自分の言葉で伝える力が大切ではないかな。

(長田委員) 1番について、2年生は高い。自分自身の強みになっているから。

2番について、生徒から見たら、リーダーに向けて。「どちらかというを支えるタイプ」がいてもいいのではないかな。

文言を変えたら数値は変わるのでは。みんながみんなリーダーだと大変。

A 実行型による場合もあった。

二人目のリーダーが出てきた班はとても良かった印象。

自由記述についてのアンケートは別にある。

(大上) 保育実習の前には自分は協調性が高いと思っている。
自分の考え方・価値観が変わる。 それはなぜ?の問いかけ
自分の見方・考え方を考えさせる。 「私も同じ」→安心感があり、楽できる。
DX採択にあたって、データを見てどのように判断するかの力をつけさせたい。
見方・考え方を変えることができるか。

(安部) 否定的な子は自分事として動くのが難しいし、できていないということがある。
どうすれば自分事として捉えられるようになるのか。
半分は隠岐に帰ってこない、自分の生活のみ→悲しい現実

(佐々岡) 「自分事」という事に関して、
例えば、自分達が提案したことが町役場などに関わっていただくことがあるか。
一緒に何かをするなど、そういう前例があるのか。

A 一昨年度、「木育」 昨年度「外来種カフェ」

(若岡) 生徒は大人に関わるのに時間がかかる。

(長田委員) 電話はハードルが高い。顔が見えない。

谷本さん。高校2年生の時に一緒にやったり、観光協会に就職

生徒がどれだけ町のイベントごとにどれだけ参加していくか。

地域行事にたくさん参加してほしい。

・島前に比べてイベントが少ない。

朝市を復活させたい。高校生とつながる機会があると良い。起業精神。

・学校に相談いただいた方がいいのか。

高校生を外に出すことが大切。

・実践型アントレプレナーシップ教育・越境的な学びなどの新しい取り組みについて

「隠岐」に帰ってきたいけど島に仕事がない。

アクセス面から、松江・出雲・大阪に限定しがち。

起業=新しい会社を立ち上げることだけではない。

アントレプレナーシップ:「教えられる、伸ばしうる資質・能力」

実際のところ必要なのは? 文部科学省から引用。EUからの引用。

三菱未来の助成金を200万円を獲得。

①実践型アントレプレナーシップ ②越境的な学び

③まとめ(第2回委員会(12月予定)までに取り組むこと

令和6年度 第1回隠岐高等学校 魅力化コンソーシアム魅力UP委員会

開催日時 令和6年6月20日(木) 16:40~17:30
会場 隠岐高校 総合実践室(東側)
出席者 委員長 橋本様、役員 牧尾様、藤田様、
委員 齋藤様、谷本様、
委員 高橋教頭、若林総務部長、福島生徒指導部長、
事務局 山中(進行)・井上

議事録

①橋本委員長 挨拶

関係人口について

②共有事項

(1) 島親さんについて

全体会で藤田さんより報告あり

(2) 県外生徒について

③意見交換

「これからの隠岐高校の在り方について ~生徒募集の側面から~」

(藤田役員) アパートリフォーム中(2LDK、オール電化6月完成)であり、条件(365日の食事提供なし、教員の定住)によっては、一時的な寮として提供も可能である。

※送迎などの問題はどうか。

(牧尾役員) 県外や島外の生徒の受け入れは、隠岐高校の存続にも影響してくる。卒業生や島民も隠岐高校は存続させたい気持ちは同じ。

(橋本委員長) 交通の便(時間帯)も考えていく必要がある。高校生は部活動もあり、今のバスの時刻表では難しい。町としてもバス会社との交渉の余地はある。

隠岐高校として、新たな寮の建築などを町へ働きかけをしていく必要がある。

ホテルMIYABIの簡易寮などの短期的な利用はできないのか。

既成事実を作り上げる。

下宿先の確保を急ピッチで進めていく。

④まとめ(第2回委員会(12月予定)までに取り組むこと